

# 理想の自分に家庭の壁

「人口当たりの社長輩比率日本一」（2020年・帝国データバンク福井支店分析）を誇る福井県だが、女性の社長や役員・管理職の割合はともに全国45位と低迷していることが、7日公表の都道府県版ジェンダー・ギャップ指数で示された。フルタイムで働く女性が多い一方、家事や育児の負担ものしかかる現状が浮き彫りになり、専門家は「ダブルワークしているのと同じだ」と指摘する。

（堀川耀、前田和也）  
【1面に本記】

## ジェンダー・ギャップで福井 家事・育児時間 女性が7倍

「夫は家事をしないので、自分の時間はほとんどない」。IT関連会社に正社員として勤める鯖江市の40代女性。中学生と小学生の子育てと仕事の両立のため、食材は週1回、約2万円分

まとめ買いし、一気に下ごしらえし省力化している。「60歳以降も働ける職能を身に付けたかった」と今の仕事に就いたが「家事・育児は女性がやって当たり前。福井は男尊女卑社会だ

と思う」と不満は募る。「仕事をしているママが好き」と言ってくれる子どもたちが励みだ。刃物向けの金属素材などを手掛ける武生特殊鋼材（越前市）の総務統括部長、國岡里衣さん（39）は4歳と1歳の息子を育てている。数年前、社内の経営層刷新に伴い、取締役常務に抜擢された。自身の経験から「職場と



①女性が働きやすい職場づくりの工夫を重ねる武生特殊鋼材の國岡さん（右）＝越前市四郎丸町の同社  
②「時短勤務から管理職を目指したい」と話すファーストトレードの八代さん（左）＝あわら市大溝3丁目の同社

### 福井のジェンダーギャップ指数と全国順位 (指数「1」が平等)

政治	0.156	15位
衆参両院の選挙区選出議員	0.333	5位
都道府県議会議員	0.061	39位
市区町村議会議員	0.131	31位
女性ゼロ議会	0.824	26位
歴代知事の在職年数	0	8位
市町村長	0.063	8位

行政	0.266	7位
都道府県の管理職(教委事務局除く)	0.177	5位
都道府県の審議会委員(防災会議除く)	0.594	12位
都道府県の防災会議委員	0.143	27位
地方自治法上の委員会委員(教委除く)	0.432	4位
都道府県の職員採用	0.485	35位
都道府県職員の育休取得率	0.139	8位
市町村の管理職(課長相当職以上)	0.296	6位
市町村の審議会委員(防災会議除く)	0.438	15位
市町村の防災会議委員	0.103	24位

教育	0.377	28位
大学進学率	0.854	39位
小学校の校長	0.388	10位
中学・高校の校長	0.073	30位
小中高の副校長・教頭	0.409	11位
都道府県教育委員会の委員	0.500	43位
都道府県教委事務局の管理職	0.250	13位

経済	0.339	43位
フルタイムの仕事の賃金格差	0.775	12位
フルタイム以外の仕事の賃金格差	0.885	9位
フルタイムの仕事に従事する割合	0.667	19位
家事・育児などに充てる時間	0.141	35位
社長数	0.106	45位
企業・法人の役員・管理職	0.136	45位
農協役員	0.038	46位

令和4年3月8日 福井新聞

家族の理解、協力がなければ（仕事を）到底続けられない」と話す。女性技術者に産後の時短勤務を認め、当初3歳までだった期間も希望に応じて延長できるようにした。

EC（電子商取引）事業者支援のファーストトレード（あわら市）の八代宣子さん（36）＝坂井市＝は「何のために働き、どんな自分になりたいか。自分と向き合っ出した答えが性別で制約されない社会であるべきだ」と力を込める。

第2子出産後にパートで入社した。キャリアアップを目指す八代さんに、会社は「時短社員」を提案。給与は時給から月給になり、収入も増え、チームリーダーに昇進した。「時短勤務でも管理職になれることを体現したい」

福井県の共働き夫婦で家事や育児などに使う時間は、女性が1日当たり248分に対し男性はわずか35分。格差を示す指数は全国35位となった。上智大の三浦まり教授は「福井は『性別役割論』のようなものが強く表れており、女性はダブルワークしているのに等しい」と問題視。「女性が管理職や役員になりにくいことにも因果関係がある」と話している。